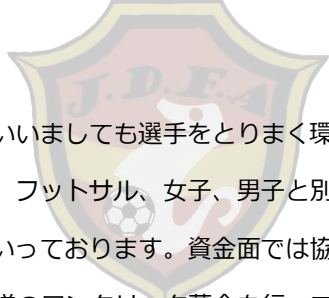


【 積み重ね 】



現在、フットサル（女子・男子）、サッカー男子の代表選手が世界・アジア大会にむけ発表されていております。代表といえども選手をとりまく環境は決してめぐまれたものではありません。その中で少しでも負担を減らそうというんな所で活動していております。サッカー、フットサル、女子、男子と別々に考えるのではなく、ろう者サッカー全体、ろう者の子ども達への将来の支援と考えながら協会だけでなく選手自身も活動していております。資金面では協会がクラウドファンディングを行ったり、フットサル男子川元監督はリストバンドを、フットサル女子山本監督は株式会社イオレ様のワンクリック募金を行っております。「https://ra9.jp/donation/deaffutsal_pc/index.html?f=ra9hp_sp」 継続して活動していく事により資金面だけでなく認知度も向上していております。デフフットサル女子日本代表スポンサーの株式会社イオレ様『らくらく連絡網』のクリック募金のお願いですが1日1回クリックするだけで株式会社イオレ様から1円が寄付していただけるという素敵なシステムです。現在1日平均60名ほどのクリックを頂き22000円程になっております。これが100万人の方にクリックして頂けると100万円が支援されることとなりますので、厚かましいお願いですが一人でも多くのお知り合いの方に周知ご協力お願い致します。7月に鹿児島県霧島市にて九州ろう者サッカー協会の皆様のご支援があり第13回全日本ろう者サッカー選手権大会が開催されました。試合結果は久住呂監督率いる東日本が2年連続優勝、準優勝に九州、3位西日本、4位北海道でした。大会最優秀選手に「桐生」、優秀選手に「千葉」「渡邊」「中島」「木村」の4名が選ばれました。9月には京都で第48回全国ろうあ者体育大会が開催されました。こちらは京都府サッカー協会の審判委員会のご支援があり、審判員に女子の国際審判員の方を派遣くださいました。大会の結果は小林監督率いる茨城が14年ぶりの優勝、初優勝狙いました神奈川が準優勝、2年連続優勝してありました東京が3位、昨年準優勝の福岡が4位でした。大会最優秀選手に「仲井」、優秀選手に「大西」「塩田」「千葉」「奥元」の4名が選ばれました。その中から代表に選ばれて満足するだけでなく試合にでて活躍できる選手を18名選出しました。今回選出されていなくても個性あるいい選手を見つけることができ収穫もありました。一口で個性といえどもその中に「癖」と「色」があり似ているようでまったく別のもので。癖というのは自分の持ち味だと思い込んでいるのでなかなか直そうとしません。チームにもいい色を受け入れる懐の深さが必要になります。チームの和を大切にしながら自分の色をだせるこの選手と共に10月に開催されます台湾アジア大会/デフリンピックの出場権をかけた大会に挑んでいきます。あとわずかな日々を一日一日大事していかないと後悔します。私たちは勝つためにアジアへ戦いに行くのであって、お祭りで行くわけじゃないのです。そのための準備を、大会が終わった時にすべてやり切ったと思ってほしいと強く思います。